科目番号	59018	分類	専門科目 環境保健学	履修者	看護学研究科博士課程	学年
科目名	環境衛生学 （ Environmental Health Sciences ）					1 配当セメスター 通年

担当者	○岸　恵美子　他１名	区分	選択	単位	2	時間数	30

授業の概要および目標	学位授与の方針との関連	
【概要】 地域規模から地球規模の環境問題まで様々な現象とヒト集団の健康像との関わりについて、最新のデータを踏まえながら文献から知識を吸収し、併せて研究態度をも身に付ける。 ヒト集団の環境への適応について、ヒトの生物学的基盤の知識をもとにして生物学的適応と文化的適応の２つの側面から理解する。また人口再生産のメカニズムと人口変動について「環境」と「健康」の関わり合いの結果としてとらえながら学ぶ。また、ヒト集団の健康像に影響を与える環境側の要因を「生物学的要因」、「物理学的要因」および「化学的要因」の３つに分類し、それぞれの要因と健康の関わり合いについて自ら英語文献を選択して抄読会で発表する。 【目標】 １．環境の健康影響に関する科学的知見の現状を理解する。 ２，環境の今日的課題を把握する。 ３．環境衛生向上のための具体的なアプローチを習得する。	○	1. 看護学の継承・発展を担うための研究能力
	○	2. 人間の発達段階に応じた看護学に関する研究能力
	○	3. 地域社会の保健ニーズに即した実践的研究教育能力
	○	4. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力
	○	5. 臨床現場との連携を図りながら看護基礎教育を担う事ができる能力
	○	6. 実践を行いながら学部学生の臨地実習を指導できる能力

授　業　計　画

回	内　容	担当教員
第１回	生態系と人類の特性	岸 他１名
第２回	環境と生存様式の多様化	
第３回	生業、社会および環境との関わり合い	
第４～15 回	コロキウム ①文献抄読 ・環境衛生学 ・環境保健学 ・環境化学　に関する文献 ②15 分レクチャー 特定の課題について 15 分間でプレゼンテーションし、ディスカッションを行う	
事前・事後学習	事前学習：日本および世界の環境問題の現状について理解しておくこと。英語文献を検索し、発表し腸を作成すること。 事後学習：環境衛生学に対する字図からの考えを明確にし、看護職としての役割を考慮し、これを実践できるように努めること。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組むこと	
評価の方法	抄読会への出席状況および文献抄読および 15 分レクチャーの内容・プレゼンテーションにより評価する。 フィードバックは適宜行う。	
参考図書・資料等	授業の都度、必要な資料を配布する。	
備　　考	オフィスアワーは、学生ホールの電子掲示板および学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。	